

諏訪氏館跡

～諏訪姫ちゃんも暮らした地～

訪問日 2023/8/2

- 所在

長野県茅野市（上原城同様、諏訪市じゃないんよね）

図1は上川にかかる江川橋から見た上原城周辺の遠望である。



図1. 江川橋から見る遠望。左上の赤丸に上原城跡が位置している（と思われる。ごめん。。。）。右下の場所に諏訪氏館跡がある。

- 遺跡概要

石碑が立っているが、他に建造物はない。地形が平たくなっており、住居跡であったのも頷ける。

- 館跡

背後の山が上原城であり、非常時に逃げ込めるようになっているのだろう。館跡自体も、この周辺で一番高いところに立地しており、身分の高い人の住居らしい立地である。

図2の左は諏訪氏館跡に建てられている石碑である。植木なども地元の方?が整備している感じだ。図2右上に示した看板によると、諏訪氏滅亡後、武田による諏訪支配の要として活用され、板垣信方の住居となっていたようだ。板垣信方が村上義清戦で打たれた後は長坂虎房という人物が住んだようだ。

ちなみに上原城に登る際は、車道に沿って行く道だけでなく、図2の右下に示した、諏訪氏館跡の上にある鳥居のところの道からも行けると思われる。

遺跡全体は畑や薪を干す場所として使われているようだ。悲しいような虚しいような仕方ないような。

ちなみにだが、我らが諏訪姫ちゃんこと諏訪御料人ちゃんもここで生活したのは間違いなくはずだ。~~匂いとか嗅いでみた。もしかしたらいい匂いとかしたりしないかなって思ったんですけどね。~~



こちら諏訪姫ちゃんのイラスト。



図 2. 左・諏訪氏館跡の石碑。植木も整備されていて、地元の方からの敬意を感じる。(知らんけど) 右上・説明看板。右下・諏訪氏館跡から上原城に向かう登城口の目印の鳥居。次の機会には、ここから上原城に行ってみよう。



図 3. 左・諏訪氏館跡。畑などに再利用されているようだ。右・なにかある？からの薪い〜…。



図 4. 諏訪氏館から（少し降りたところから）の見晴らし。付近では一番高いところの立地。城下町を一望できる場所だったので推測できる。

● まとめ

悠久の時を歩み続けることはできない。むしろ、薄れゆく人々の記憶の中でなお、悠久を刻まねばならないのは残酷か。もしそうなら、自然に還りゆくこの遺構は、幸せなのかもしれない。

運命が大きく動こうとするとき、力なきものは抗うことすらできない。もし自分に力があるなら。その運命にあらがってなお有り余る力があるなら。救えるだろうか、他者の運命を。

自然に還りきるまでもうしばらく、歴史を語ってくれるのだろう。

著者・林慎太郎